

NPO 法人ドットジェイピー  
インターンシップ事業部  
宮城エリア様との意見交換会

# 報 告 書

大崎市議会

議会運営委員会

【日時】 令和3年3月22日（月）午前10時～午前11時30分

【場所】 大崎市役所三本木総合支所3階 全員協議会室

【意見交換会出席者】

○NPO 法人ドットジェイピー インターンシップ事業部宮城エリア

早坂 憧哉 氏（東北福祉大学）

酒井 さくら 氏（宮城学院女子大学）

千坂 亮智 氏（福島大学）

○大崎市議会

佐藤 弘樹 議会運営委員長

中鉢和三郎 議会運営副委員長

佐藤 講英 議会運営委員

関 武徳 議会運営委員

氏家 善男 議会運営委員

佐藤 和好 議会運営委員

相澤 孝弘 議長

後藤 錦信 副議長

【意見交換会経過】

1. 開会 佐藤議会運営委員長
2. 開会のあいさつ 相澤議長
3. 出席者紹介
4. 議会の概要及び活動状況説明 佐藤議会運営委員長
5. 学生からの質問（詳細 次ページ以降）
6. 学生との意見交換（詳細 次ページ以降）
7. 閉会のあいさつ 後藤副議長
8. 閉会 佐藤議会運営委員長

## 【学生からの質問－質疑応答－】

問：現在の大崎市の議員から見る課題と、行政側から見る課題はどんなところが挙げられるか。また、それらを踏まえ現在ほどのような対策を実行しているか。

答：定住支援やインフラ整備，少子化対策などの地方創生が挙げられる。コンパクトで効率的な行政運営を支えるための，議会としても議会改革を進める。

問：今の若者に求めるものは何か。率直な意見を伺いたい。

答：このような場に参加いただいている皆さんのような若者に尽きると思う。最近人と人とのつながりというものが気薄になっているように感じるが，そのことが全ての原点になるので，忘れないようにしていただきたい。

問：どんな若者と一緒に仕事をしたいと思うか。

答：私自身も農業を営んでいるが，やはり，やる気のある若者，何にでも興味を持つ若者を求めている。

問：道路の舗装をしてほしい。特に中学生，高校生は自転車で通学する学生が多いので，自転車が走りやすい道路，自転車道を設計してほしい。古川駅から私が高校時代に通っていた古川高校までの道は，古川学園高校の前を通る途中で歩道がなくなる状況だった。

答：令和元年度実施の市民満足度調査においても，道路整備における満足度は40%程度である。

令和3年第1回定例会において議会で議決した令和3年度予算で，道路建設・修繕にかかる予算は約87億で，全体の約17%になる。要望は多いが，市全体の財政の維持ということも考えなければならないことを，御理解願いたい。

自転車道の設置については，市のまちづくり全体の中で検討していく。

問：医療費を18歳まで無償化してほしい。隣の栗原市では実施している。

答：大崎市としてもこれまで，年齢を段階的に引き上げ，無償化を実施してきた。

18歳までの無償化については，議会定例会ごとの一般質問などで，議員からも通告し対応を求めている状況。

問：陸羽東線の朝夕の本数を増やしてほしい。本数が少ないため、通学や通勤の時間は密になりやすい。コロナ禍以前も本数が少ないことは不便であった。

答：期成同盟会等で要望はしているが、収益性は無視できないことは御理解いただきたい。本数の増につなげることは難しいが、昔と比べると技術の進歩により、古川から川渡温泉駅間など時間で比べると早くなっている。また、利便性という部分で言うと、新幹線との接続等はJR側で改善いただいている状況もある。

問：私の住んでいる古川地域の市街地も、最近では田んぼを潰して家を建てているが、いつか田んぼがなくなり農業ができなくなってしまうのではないか。

答：古川地域の市街地でそのような状況を見るとのことだが、市としては農業振興地域というものを設定し、農地法や農業委員会で乱開発の防止をしている。

そして、農業の一番の大きな問題は、過疎地域の後継者不足問題と捉えている。

問：空き家対策は。

答：令和元年度で空き家の調査を実施。空き家の有効活用については、定住支援策などとも連動して実施していく。

### 【意見交換①－学生からの話題－】

問：大崎市の観光に関して，四季を通じて老若男女が集まれる場が必要ではないか。また，屋内運動場の整備が必要では。

答：運動場の整備については，現在の古川総合体育館の東側への設置を求める要望など，地域からもいただいている。市の財政状況もあり，なかなか実現に至っていない。

現在，学校の統廃合により学校施設の跡地利活用の協議を行っている部分もある。

### 【意見交換②－議員からの話題－】

問：令和2年度，コロナ禍で学生生活を送る上で大変だったことは。

答：授業でレポート提出が多い。

深い学びにつながらない。

インターンシップ事業の実施が難しい。

図書館が利用できず，文献が集めづらく，自分の満足するレポートの作成ができない。

サークル活動の停止。

コミュニケーションというものを考えるきっかけになった。

意見交換会記録写真

